

交通バリアフリー教室 in 水戸市立堀原小学校

茨城運輸支局では、令和4年10月6日（木）に水戸市立堀原小学校の4年生39名を対象に「交通バリアフリー教室」を開催しました。当日は、茨城交通株式会社のノンステップバスを使用して、車いすや高齢者疑似体験セットを使った乗降・介助体験を実施しました。体験を通じて、車いすを使用している方や高齢者の方の大変さと手助けする大切さを学びました。

【開催概要】

- 日 時：令和4年10月6日（木） 10:30 ～ 12:00
- 場 所：水戸市立堀原小学校
- 参加者：4年生 39名
- 主 催：茨城運輸支局、水戸市
- 協 力：(公社)茨城県地方自治研究センター 研究員 有賀絵理氏〔講師〕、
(一社)茨城県バス協会、茨城交通(株)

【プログラム】

- オリエンテーション
- 車いす体験／介助体験
- 高齢者疑似体験／介助体験
- グループ発表
(体験してわかったこと、難しかったこと、良かったこと)
- まとめ



参加者の感想

- ・車いすの人もお年寄りも手伝ってもらえるだけで、すごくうれしいなと思いました。
- ・車いすはこわかったけど、介助者がいたおかげで、こわさがやわらいだ。車いすの人の気持ちを知れてよかった。
- ・介助者やお客さんも手伝うとうれしい気持ちになった。
- ・お年寄りは関節が曲がらなくて大変だと思った。いつもふつうに感じていた段差がこわかった。
- ・介助する時、けがなどをさせないように、ゆっくり押したりして緊張した。介助者は大変だと思った。
- ・手伝う時、車いすの人や介助者の力になれるよう、がんばろうと思いました。
- ・これからバスに乗って車いすの人やお年寄りがいたら手伝ってあげたいと思いました。
- ・車いすの乗り方や杖の持ち方を知らなかったけど、使い方が分かった。



車いす体験



高齢者疑似体験



グループ発表